

世球さ笑顔にする SDGs ACTION BOOK 2021-2022



# 地 球 を 笑 顔 に する た め に 、 メ ディア と し て で き る こ と 。

2015年、193の国連全加盟国が採択したSDGs。 貧困や不平等、気候変動などの社会課題を解決し、 持続可能な世界を目指した国際社会共通の目標は、 近年、急速に社会に浸透しつつあります。

しかし、世界を変えることはたやすいことではありません。1人ではできません。もちろん、1日でもできません。17のゴールと169のターゲットを達成するためには、手と手をとりあって真剣に考えることが不可欠です。

メディアとして何ができるか? TBS は真剣に考えています。「地球を笑顔にする WEEK」をはじめ、パートナーシップの名の下に、グループ全体でさまざまなことに取り組んできました。

「地球を笑顔にするSDGs ACTION BOOK」は、これまでの取り組みを振り返り、思考の痕跡を形にした冊子です。そして、未来を担う若者たちと共に考え、共に取り組むための交流の場、新しいスタート地点です。この冊子が、一人でも多くの若者のACTIONに結びつくことを願って。

地球を笑顔にするためにできること、 みんなで一緒に考えてみませんか?

# 一緒に考えよう。S

地球を笑顔にするためにできることを、みんなで一緒に考える。 その最初の企画として、「SDGs子ども勉強会プロジェクト」に参加する 小・中・高校生の3人と、TBS社長・佐々木卓との対話の機会を設けました。 さあ、未来につながるアクションを一緒に生み出しましょう!

#### CONTENTS

- O3 TOP MESSAGE
- **○7** Chapter1 メディアとして、何ができるか?
- OS 円状に広がるTBSの取り組み
- 10 第2弾「地球を笑顔にするWEEK」
- 12 Interview:川畑恵美子/河本恭平
- **14** 「地球を笑顔にする HOUSE」
- 15 第3弾「地球を笑顔にする WEEK」
- 17 Chapter2 パートナーシップの名の下に。
- **18** SDG メディア・コンパクト/特別寄稿: フランシーヌ・ハリガン
- 19 Interview:アントニオ・グテーレス国連事務総長
- 20 広がるパートナーシップの輪
- **23** Chapter3 環境の未来に向けて。
- **24** TBS の環境対策
- 25 Interview:三宅正治
- **26** みつばちプロジェクト/ THE TIME, の森プロジェクト
- 29 Chapter4 働き方も、サステナブルに。
- 30 Interview:久保田智子/河村浩司
- 32 TBS グループユニバーシティ
- **35** Chapter5 さあ、はじめよう、SDGs。
- **36** SDGs ACTION GUIDE
- **4〇** TBS と一緒に、やってみたい!

#### **SPECIAL CONTENTS**

16-22-28-34

社員一人ひとりに、できること



SDGs が掲げる"誰ひとり取り残さない世界"を象徴する企画として、TBS 赤坂サカス広場では「地球を笑顔にするMUSEUM」と題して、全国の障がいのあるアーティストの作品を展示しました。本誌では、独創的で色鮮やかな作品の一部を各 Chapterの扉絵として掲載しています。



地 事 球 者 **ത** 識 を を 行 左 右 つ を T す 起 ت す



櫻井晃太郎さん 高校 3年生

佐々木「はじめまして、TBSの佐々木です。名前は タカシと読むのですが、社員からは『タクさん』と呼 ばれています。今日は皆さんにも『タクさん』と呼ん でもらえるとうれしいです!」

櫻井さん「はじめまして、タクさん(笑)。僕たちは『SDGs子ども勉強会プロジェクト』のメンバーで、今日は高校生の僕と中学生の小川さん、小学生の福田さんに参加してもらっています」

佐々木「皆さん、よろしくお願いします! 私は "TBS38年生"です(笑)。プロジェクトではどん な活動を行っているんですか?」

櫻井さん「小学生から大学生まで約22人が在籍し、SDGs の認知を向上させるための活動を行っています。例えば、FMラジオや SNS を活用して情報発信をしたり、意識の底上げのためにお子さんや保護者向けに勉強会を実施したりしています。また、具体的なアクションとしてミートフリーマンデー※にも取り組んでいます。"地球生まれ日本育ち"という意識を持って、同じ地球に暮らす人間として他者との違いを認め合えれば、SDGs の目標達成につながっていくと思います」

佐々木「地球生まれ日本育ち、いい言葉ですね」

小川さん「私もミートフリーマンデーに参加していて、告知用のリーフレットを作って区役所などに置かせてもらっています」

**櫻井さん**「豊島区や文京区などの区長さんとも面会し、色々なお話をさせてもらいました。タクさん、 突然ですがクイズです!もし、肉の輸入がストップして国産肉のみになったら、何日間に1回、肉を 食べられると思いますか?」

佐々木「うーん、2週間に1回くらいかな?」

**櫻井さん**「正解は9日に1回くらい。しかも、12 グラムだけなんです!」

佐々木「たったの 12 グラム!? それは食べた内に入らないなあ…。皆さんが SDGs や社会についてしっかり勉強している上に、具体的な行動に移していることにとても感心しました。仲間とやっていることも素晴らしくて、助け合ったり、励まし合ったりすることで行動が続いていくんだろうなと頼もしく感じました」

櫻井さん「TBS ではどんな SDGs に取り組んでいるんですか?」

佐々木「報道番組などではずっとSDGs を伝えてきて、社会の役に立っていると思っていました。でも、報道番組を観ない人もいますし、それだけじゃ足りないんだと考え方を変えました。そこで2020年から始めたのが『地球を笑顔にする WEEK』(以下、WEEK)です。TBS テレビ、BS-TBS、TBSラジオが一緒になって、報道番組やバラエティ番組の垣根も越えて、7日間にわたって"いっせーのーせ"でSDGsを番組で取り上げました。報道番組でコツコツ伝えるよりも、遥かに多くの視聴者が反応してくださいました。今年の11月に第3弾のWEEKを放送しますが、2030年まで毎年続けていこうと思っています」

福田さん「私はYouTubeでサステナブルファッションを取り上げた15秒の動画を観ました。気になって調べてみて、新しい知識を得るきっかけになりました」

小川さん「私はニュース番組かなにかで SDGs を取り上げているのを観て、家族で SDGs について話し合うきっかけになりました」



小川真穂さん <sup>中学 3 年生</sup>



TBS ホールディングス/ TBS テレビ

#### 代表取締役社長 **佐々木卓**

Profile

1982年入社。「筑紫哲也 NEWS23」のプロデューサーや編成局長などを経て、2018年より現職。個人的なSDGsとして、10年以上前から開発途上国に毎月3,000 円を寄付、お礼に返ってくる子どもたちからの手紙が一番の楽しみだという。

佐々木「近年、テレビはインターネットと比較されることが多いですが、テレビは多くの人に一斉に情報を届ける力を持っています。昨年放送したドラマ『半沢直樹』は、日本人の2人に1人の約6,700万人がリアルタイムで視聴したんですよ。そういうメディアの特性があるので、SDGsも一度に何千万人に伝えられるし、WEEKもお茶の間に浸透すると思っています」

福田さん「テレビはついていると自然と観てしまうので、影響力がとても大きいと思います」

佐々木「その通りですね。テレビには大きな役割があって、災害が発生するとTBSの仲間は『なんとかして放送を継続しなくちゃ』と考えるように訓練されています。ある者は災害現場に向かい、ある者は赤坂の放送センターに出てきます。命を守るための情報を届けることはテレビの使命なんです。ところで、皆さんはSDGsを実践したその先に、どんな未来を思い描いていますか?」

**櫻井さん**「僕の将来的な目標は貧困のない世界を つくることです。でも、先進国が行う開発や経済政 策が、本当にその国に暮らす人々にとって幸せか、 真剣に考えないといけません。誰もが今いる場所で 夢を持ち、豊かに暮らせて、個人の能力が尊重され る、そんな世界が理想ですね」



福田馨子さん

# 学前 HO

福田さん「学校の友だちの中には、SDGs を大事だと思っていない人も結構います。自分たちが生きていく地球だからこそ、未来のために、地球の環境のために、SDGs が自分ごとになったらいいなって思います」小川さん「今はたくさんの企業が SDGs に取り組んでいますが、一部の企業は周りがやっているからや

でいますが、一部の企業は周りがやっているからやるという風潮を感じます。将来的には、本当に地球を良くしたいと考えてアクションを起こし、それが 当たり前になるべきだと思います」

佐々木「すごく勉強になりました。僕らはいまの世の中、いまの環境を良くしようと考えているんですが、子どもたちが大人になった将来を考えて努力しなきゃいけないことをつい忘れてしまって、戒めにしようと思いました」

小川さん「例えば、貧困問題と聞くと遠い国の話を連想しがちですが、日本にも貧困や格差が存在します。まずは身近なところに目を向けて、困っている人がいたら助けることが大切だと思います。小さなことだけど、一人ひとりが行動することで世界は変わっていくと信じています」

佐々木「TBSで働く人たちの根っこにあるのは、社会に奉仕したいという気持ちです。ちょっとカッコ良すぎるかな(笑)。でも、困っている人がいたら手を差し伸べよう、地球が困っていたら助けよう。それをコツコツ続けていくことが僕らの会社の使命でもあるし、働きがいなんです」

櫻井さん「僕はそんな TBS と一緒に、日本全国の学校で SDGs を教える学びのモデルケースをつくってみたいです。例えば、みんなで大豆ミートを食べて、それによって減った環境負荷を数値化して、学校ごとにポイント化すると目標にも競争にもつながって面白いんじゃないでしょうか。貯まったポイントはWEEK の協賛企業を通じて、開発途上国に寄付する

仕組みもつくれるといいですね」

福田さん「TBSの番組で、タレントさんが環境にやさしい生活をする様子を放送してほしいです。好きなタレントさんだったら真似してみようかなと、アクションのきっかけになると思います」

小川さん「SDGsを当たり前のことにするためには、幼少期の教育が大事です。子どもたちが SDGs を体験できるイベントをもっともっと実施してほしいです」佐々木「本当にどれも素晴らしいアイデアだと思います! 私たちもテレビという枠を越えて、イベントも積極的に行っていこうと考えているところです。それは、『最高の"時"で、明日の世界をつくる。』という TBS のブランドプロミスに結びつきます。みんながニコッと微笑んで安らぐ時を作って、地球が 10年後、100年後も残るように、ちょっといい世界を作っていきましょうっていうのが目標です」

小川さん「今日は TBS が未来に向けて色々なことに取り組んでいることを知れて、すごいなって思いました。SDGs に興味のない人をどう変えていくかが今後の課題なので、TBS にはどう興味を持たせるかをやってほしいなって思います」

櫻井さん「TBSには、SDGs後進国といわれる日本 をメディアの力で思いっきり引っ張っていってほし いです」

佐々木「本当に励みになる言葉ばかりです。僕のほうこそ、TBSが対話すべきは子どもたちなんだと実感しました。そして、地球を笑顔にできるかは、TBSが子どもたちとタッグを組めるかにかかっていると確信しました。子どもたちには大人にない発想や感覚があるし、色あせた大人の想像力を補ってくれます。今日は本当に目から鱗の意見やアイデアをいっぱい聞けてうれしかったです。ありがとうございました」

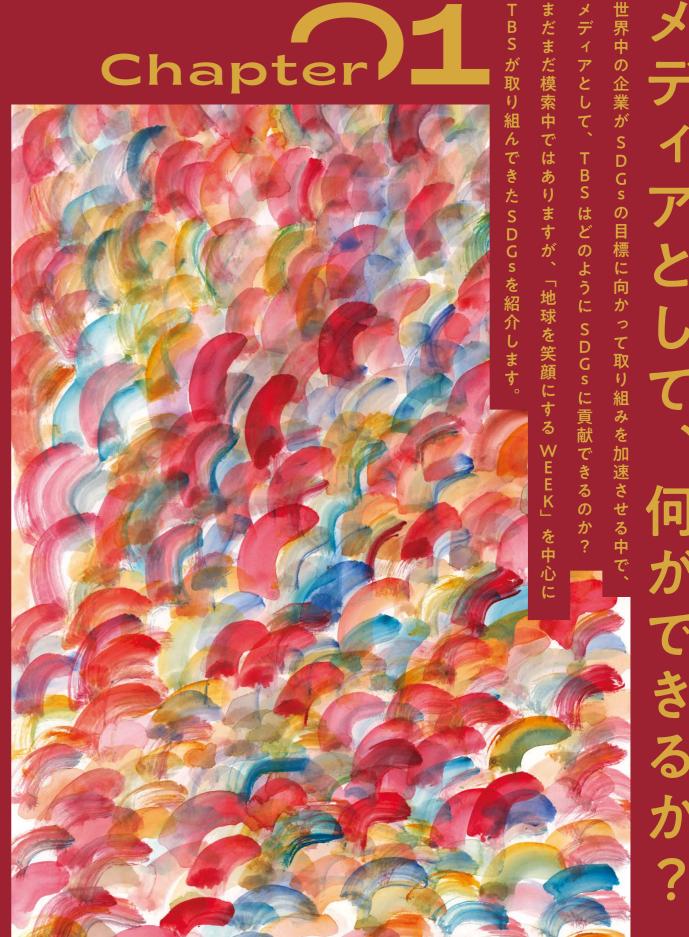
動画版も公開中。



#### 球 S を が 笑 子 顔 で た き ち る か タ は ツ

る

T



「BIG STEP」 SA

# メディアとしてできることを

# 通して、SDGs

#### 環境への取り組み



SDGs の「気候変動に具体的な対策を」などの達成に向け て、放送センターのグリーン電力化、緑山スタジオや戸田 送信所、赤坂サカス広場の3施設の再エネ化などを実施。 環境について考える取り組みも行っています。

⇒詳細は P24-27



2021年7月、赤坂サカス内にオープンした SDGs の発信拠 点です。SDGs に関するさまざまな切り口の展示やイベント を行い、アクションを起こすためのきっかけやヒントを提供

⇒詳細は P14

皆さんは、2006年に公開されたドキュメンタ リー映画「不都合な真実」をご存じですか? 第 45代アメリカ合衆国副大統領アル・ゴア氏が地球 温暖化に警鐘を鳴らし、世界中でセンセーション を巻き起こした作品です。その翌年、TBSは報道 番組「NEWS23」にゴア氏を招き、環境問題タウン ホール・ミーティングを放送し、大きな反響を呼び ました。これは、2015年にSDGsが採択される以 前から、TBSが環境問題について真剣に考えていた ことを表すエピソードの1つです。

2007年からは放送センターで使用する電力にグ リーン電力を活用し、CO2排出量を削減する取り 組みを開始。緑山スタジオや戸田送信所などでも再 生可能エネルギーの使用を進めています。SDGs の 採択はそうしたTBSの環境対策を後押しすると同 時に、世界が直面する多くの課題について発信する きっかけになりました。

2020年に始まった「地球を笑顔にするWEEK」 は、円状に広がる TBS の取り組みの中心に位置し ます。TBS テレビ・BS-TBS・TBS ラジオが一丸と なり、7日間にわたって番組内でSDGsを特集し、 気候変動はもちろん、ジェンダーや貧困といった 問題に切り込みました。2021年には、発信の手 を緩めないために赤坂サカス内に「地球を笑顔に する HOUSE」をオープン。障がいを持つアーティ ストたちの作品を赤坂サカス広場に展示する「地 球を笑顔にする MUSEUM」や、オンラインイベン ト「地球を笑顔にする FESTIVAL」なども実施し ました。メディアとしての特性を最大限に活かし、 SDGs について知り、アクションを起こすきっかけ を作るために。TBSが取り組む多岐にわたる SDGs は、未来に向けてより大きな円を描いていきます。

#### 働きがいへの取り組み



多様な価値観・発想を持つ人が共に働き、新たな価値を創 り出す働き方を「T-work」と名付け、SDGsの「働きがい も 経済成長も」の達成に向けて働きやすい環境づくりを

⇒詳細は P30-33

#### 地球を笑顔にする WEEK



て番組内でSDGsを特集するという、メディアの特性を活かし た取り組みです。2021年11月1~7日にかけて、第3弾を実施。 ⇒詳細は P10-11・15



赤坂サカス広場の仮囲いに、障がいのある人たちが描いた作品 を展示。第2弾では、障がいのある人を支える団体「きょうさ れん」のデザインコンクール入賞作を中心に、27の作品を展

#### SDGメディア・コンパクトへの参加



SDGメディア・コンパクトとは、国連が SDGs の認知拡 大や理解促進においてメディアを重要視し、各国のメディ ア企業にアクションの推進を促すもの。TBS は 2019 年に 加盟しました。

⇒詳細は P18-19

#### 地球を笑顔にする FESTIVAL



第2回「地球を笑顔にするWEEK」の期間中、小中学生を対象 にSDGsを楽しく学ぶワークショップやライブ配信をオンラ イン開催。ワークショップには4日間で全国から約100人の子 どもたちが参加しました。

⇒詳細は P11

## TBSが一丸となって取り組む 「地球を笑顔にする WEEK」を通して、 多くの人に SDGs ACTION を促したい



メディアとしての特性を最大限に活かして、幅広い 層が SDGs を知るきっかけをつくり、未来に向けたア クションを促すために何ができるか? そんな想いか ら2020年に始まったキャンペーンが「地球を笑顔に する WEEK」(以下、WEEK) です。TBS テレビ・BS-TBS・TBS ラジオが一丸となり、さらにはバラエティ 番組や報道番組といった垣根も越えて、7日間にわたっ て SDGs を発信する取り組みは、TBS にとって実にチャ レンジングな企画でした。

2020年11月23日~29日に行われた第1弾を大 きく進化させたのが、2021年4月26日~5月5日に 実施した第2弾です。朝の「あさチャン!」から夜の 「NEWS23」まで、すべての情報・報道番組の中で国内 外の SDGs に関わる取り組みを連日紹介。ゴールデン プライム帯(午後7時~11時)でも、「東大王・SDGs スペシャル」をはじめ、「世界くらべてみたら」「バナ ナマンのせっかくグルメ!!」など、多くのバラエティ 番組がキャンペーンに参加し、それぞれ工夫を凝らし て SDGs を取り上げました。大使を務めた木村佳乃さ ん、バナナマンのおふたり、山之内すずさん、安住紳 一郎アナウンサーは、期間中さまざまな番組に出演し てキャンペーンを盛り上げました。

TBSグループが一丸となって取り組んだ WEEKの 反響は、想像以上に大きなものでした。視聴者の SDGs への認知や興味・関心は約2倍向上し、SDGs に取り組んでいる企業の商品やサービスを利用した いと感じた人も120%ほど上昇(数値はいずれも第 1弾との比較値)。微力ながら、より良い社会を実現 するためのアクションを促す成果を挙げました。2021 年11月1日~7日の第3弾では、"メディアとしてで きること"をより進化させ、SDGsのさらなる認知拡 大に貢献することを目指します。

#### 「地球を笑顔にする WEEK」は SDGs の認知度や興味向上に 貢献しています 予想以上の反變が得られた WFFK の効果について、もう少し見てみましょう。 下記は、WEEKの番組を視聴した人と視聴しなかった人の意識の変化を示し たビデオリサーチの調査結果です。WEEK 視聴者は SDGs という言葉や目標、 内容を認知し、興味・関心を抱いたと答えた人が約8割を占め、非視聴者の 2 倍以上の数値となっています。 また、SDGsは「よりよい地球を残すための目標であること」「目標達成には、 自分たちで個人でも取り組めること」といった項目への理解度も高く、男女 15~19歳の若い世代に「いいテーマを取り上げていた」という評価をいた だけたことも嬉しい結果になりました。 ■■■ 番組視聴者 非視聴者 ※番組視聴者:キャンペーン期間中にTBSを視聴し、 「地球を笑顔にする WEEK」を「確かに見た」回答者 SDGsの認知と興味・関心 100% 80% 60% 40% 20% 知目 っ標 っ葉 心味 てを が・ い内 る容

#### 大使の皆さんも SDGsを実践!



キャンペーンのテーマは「やってみようよ、SDGs is 大使の 皆さんが実践している/実践したい SDGs を発表する 12 種 類のキャンペーンスポットは多くの人の目に触れました。

#### BS-TBS でも特番を放送!



BS-TBSでは「ねこ自慢」や「にっぽん!歴史鑑定」など のレギュラー番組で SDGs を取り上げ、特番「ブルー・アー ス生命の海」では海を起点に地球の未来を考察しました。

#### バラエティでも SDGs を特集!



多くの人が視聴するゴールデンプライム帯では、「東大王」 に大使全員が参加して SDGs クイズに挑戦するなど、さまざ まなバラエティ番組で SDGs を取り上げました。



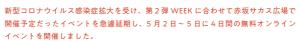
キャンペーンに先立ち、4月25日には特番「やってみよ うよ SDGs 地球を笑顔にする TV」をオンエア。大使の皆 さんと共に SDGs を基礎から深堀りしました。

#### ラジオならではの独創的なテーマも!



TBSラジオでは「荻上チキ·Session」や「アシタノカレッジ」など で、アクションにつながる SDGs を深堀り。「ウンコと SDGs I など、ラジオならではの独創的なテーマも取り上げました。

#### 「地球を笑顔にするFESTIVAL」 をオンライン開催!



TBS スポーツキャスターの高橋尚子さんがブラインドサッカーの世界を体験した り、ゴミ清掃員であるマシンガンズの滝沢秀一さんがゴミの捨て方をレクチャーし たり、ピアニストの清塚信也さんが絵本の読み聞かせに生演奏で音楽をつけたりと、 <del>小学生向けのユニークなライブ配信やワークショップを実施しました</del>。



アーカイブ動画は こちらをご覧ください。

Profile / Emiko Kawabata

1999 年入社。地上波ニュースのデジタル化や「N スタ」の番組制作などを担当。著書に NICU(新生児特定集中治療室)への取材をまとめた「ちいさなちいさなわが子を看取る NICU『命のベッド』の現場から」がある。



川畑恵美子デジタル統括プロデューサー編集原報道局



報道畑ひと筋。ニュースのデジタル化や番組制作を手がける川畑恵美子さん。「地球を笑顔にする WEEK」(以下、WEEK)には第1弾から携わっていますが、それ以前に、「現場から、SDGs 2030年の世界へ」という WEB サイトの立ち上げに関わっています。

「報道局として SDGs に関するオリジナルコンテンツを発信し、地上波で放送された SDGs 関連番組をアーカイブしようと、2020年1月にサイトを立ち上げることになりました。ただ、当時は SDGs が社内に浸透しておらず、SDGs をサイト名に使うことに反対する人もいました。私は『SDGs を使わないと視聴者の感覚と乖離してしまいます!』と言って、必死に周囲を説得したことを覚えています」

遺伝性乳がんやヤングケアラーなどをテーマに、自らドキュメンタリーを制作してきた川畑さんは、SDGs が叫ばれるずっと以前から、ジェンダーや差別、貧困といった"正解のない問題"に切り込んできました。WEEK をはじめとする取り組みによって、そうしたテーマを報道しやすい環境や雰囲気が整いつつあると言います。

「ここ 20年で報道の価値基準はドラスティックに変化しています。ひと昔前なら LGBTQ 問題の優先度は低かったですし、生理の貧困がニュースで取り上げられたときは大きな一歩だと感じました。デジタル領域も踏まえて、若い人にとってのトップニュースは政治や経済ではなく、LGBTQ や食品ロスの話題に移ってきています。ニュースにも多様性が必要であり、私たちメディアも変化しなくてはいけないと思います」

発信者は時代と共に変わる。だからこそ、若い世代の感 覚が必要だと川畑さんは言います。

「学生の皆さんが関心を持っていることを知りたいし、正解はないかもしれないけど、SDGs についても一緒に考えていきたい。SDGs が企業の免罪符に利用されていないかという問題も含めてです。本心では、SDGs という言葉がなくなってもいいと思うんです。言葉はなくても、皆が当たり前のようにSDGs を実行している。そんな日が訪れるために、メディアとして何ができるかを考えていきたいと思います」



「炎の体育会 TV」の総合演出を務める河本恭平さんがテレビの世界を志したのは高校生の頃。学生寮で勉強漬けの毎日を送る中、唯一の救いだったのが"隠れて観たテレビ"でした。「特にドキュメントバラエティ番組が大好きで、笑いのオブラートに真っ直ぐなメッセージを込めた番組に感動し、いつの日か自分が作った番組で人の心を動かしたいと思うようになりました。いまも番組を作る際は『この番組で伝えたいことは何か?』を真剣に考え、メッセージを込めることを意識しています」

そう語る河本さんの性格も「いつか人に騙されるぞって周りによく言われる(笑)」ほど真っ直ぐで純真。そうした人柄が番組づくりに反映されています。

「物事を斜めに見られない性格もありますが、直球でメッセージを投げれば必ず届くと信じている自分もいるんです。以前、総合演出を担当した『さんま・玉緒のお年玉!あんたの夢をかなえたろか SP』は、視聴者の夢を叶えることを通して誰かの人生に影響を与えられる。本当にやりがいのある仕事だと思います。番組に出演してくれた高校生と数年後、テレビ局で再会して、『自分も誰かの人生に影響を与えたくてADをしています!』と声をかけられたときは泣きそうになりました(笑)」

第2弾 WEEK の特番「地球を笑顔にする TV」の制作に あたっては自ら演出に立候補。「つくる責任 つかう責任」や ジェンダー平等をテーマに番組を制作しました。

「表面的なメッセージになっていないか、目先の面白さに偏っていないか、すごく意識しました。そうした中で、SDGs はひと言では表せないし、すべての問題が円環状につながっているからこそ、時間をかけて発信していこうと頭を切り換えました。今後は人や国の不平等など、メディアでは扱いづらいテーマを積極的に取り上げていきたいと思っています」

番組づくりを通してあることに気づいたと言います。

「若い人のほうがずっと SDGs に積極的です。例えば、レジ袋が廃止されたタイの若者の間では、エコバッグを忘れたときに何に入れるかという大喜利をSNSに投稿して楽しんでいるそうです。そんなふうに、楽しさのオブラートに包んで SDGs を伝えていけたらと思っています」

河本恭平 ボラエティ制作三部

信していきたいがラートに しさや笑いの

習

包オ

Profile / Kyohei Kawamoto

2004年入社。「さんまのスーパーからくり TV」「この歌詞が刺さった! グッとフレーズ」などの制作に携わり、現在は毎週土曜日放送の「炎の体育会 TV」の総合演出。第3弾 WEEK でも特番の企画・演出を務める。



# 年 発 拠











坂に作りました

「地球を笑顔にする WEEK」終了後も、継続的に SDGs を発信するために。そして、SDGs をもっと身近に感 じてもらい、アクションを起こすためのきっかけやヒ ントを提供するために。そんな想いを込めて、2021 年7月22日、赤坂サカス内に「地球を笑顔にする HOUSE」(以下、HOUSE)をオープンしました。

常設展では、SDGs の 17 の目標と、それぞれに関連 する TBS の取り組みを解説したパネル(写真上から 2 番目)のほか、「ドラゴン桜」などの人気ドラマのセッ トや小道具が、実は使いまわし=リサイクル・リユー スされているという、テレビ局の舞台裏を紹介する展 示も。また、パラリンピック開催に合わせ、車いすバ スケットボールの競技用車いす(写真上から4番目) や、ブラインドサッカーのボールなどを実際に体験で きる展示を行い、好評を博しました。

期間限定の企画展では、江戸時代の町民のサステナ ブルな暮らしの技やアイテムを展示したり、コロナ禍 で中止や延期を余儀なくされた全国各地の夏祭りの飾 りや映像を通して文化の多様性を紹介したり、さらに は、SDGs の推進活動をしているハローキティやバラ エティ番組「世界くらべてみたら」とのコラボ企画も 実施。多くの人が楽しみながら SDGs について学び、 アクションのきっかけとなるさまざまな切り口の企画 に取り組みました。また、これからチャレンジしたい SDGs を書いて「SDGs な未来の木」(写真上から3番目) に貼る展示も、来場した皆さんのおかげで大きく育ち ました。

2021年11月14日でHOUSEは一旦終了しますが、 これからも放送という形態にとらわれず、SDGs をリ アルに体験しながら共に学び、共に考える場を提供し ていきます。

### 2021年11月1日から、「地球を笑顔にする







メディアとしてSDGsを伝え続けるために、11月1日~7日 の1週間、第3弾「地球を笑顔にするWEEK」を実施します。 今回もTBSテレビ、BS-TBS、TBSラジオが一丸となり、 さらには CS 放送の TBS チャンネル、TBS NEWS、データ放送、 SNS、配信サービスなど、あらゆるプラットフォームを活用し て SDGs を広く発信します。

キャンペーン大使は第2弾に続いて木村佳乃さん、バナナ マンのおふたり、山之内すずさん、安住紳一郎アナと、SDGs の 17 の目標を担当するアナウンサー 17 人が務めます。テーマも 前回同様「やってみようよ、SDGs」。地球温暖化や貧困、人権 問題など、さまざまな課題に関する番組や情報を発信し、アク ションのきっかけを生み出します。10月31日には SDGs につい て掘り下げる事前特番を放送するほか、期間中は「東大王」 と「世界くらべてみたら」のSDGs合体スペシャル、宇宙から見た 地球環境について考えるBS-TBSの特番「マザー・アース 奇 跡の星 宇宙から見た地球の未来」なども予定しています。

さらに、連動企画として「地球を笑顔にする HOUSE」で 地球温暖化をテーマにした特別展示を実施。「Nスタ」や「ひ るおび!」ともコラボし、見て、触れることのできる展示を通 して気候変動について解説します。赤坂サカス広場でもワーク ショップや展示を予定するなど、TBSと赤坂の街全体で、子ど もから大人まで楽しみながら SDGs を知る機会を提供します。

0

タイムスケジュールや

番組情報はコチラをご覧ください

# 





「力湧く夏」古市 悠

# 77 意 思 66 18 ク 加

盟

に

ょ

2018年、国連は世界各国の報道機関とエンターテインメント企業に対し、SDGs達 成のために資源や創造的才能の活用を促す「SDGメディア・コンパクト」を発足させ ました。これは、メディアが人々の対話を促し、SDGsに関する知識を深めるうえで 欠かせない役割を果たすという考えに基づくものです。

TBSは2019年8月に加盟して以来、社員研修へ国連の担当者を招待したり、国連 が開催する関連イベントに参加したりしています。また、2020年 11 月にはグテーレ ス国連事務総長への単独インタビューを実施(次ページ参照)。2021年9月にはドラ マ「日本沈没」に出演する俳優の杏さんが UNEP (国連環境計画) のアンダーセン事 務局長にインタビューするなど、国連と連携した SDGs の取り組みを進めています。

2021年10月現在、TBSのネットワークである JNN 系列 28 社中 27 社が加盟、残り 1 社が加盟申請中です。今後、日本で最も先進的に SDGs に取り組むネットワークと して、さらに連携を強化していきます。

が果たす役割 SDGメディ する上で たさ SDGメディア・コンパクトは、SDGs の達成を後押し する上で、メディアとエンターテインメント業界の果 たす役割が不可欠との認識の下、グテーレス国連事務 総長が 2018 年に立ち上げたダイナミックなイニシア ティブです。以来、SDG メディア・コンパクトは、世 界のあらゆる地域で SDGs を推進するために、自らの 資源を活用したメンバーが多数参加し、活発で多様性 に富んだコラボレーションへと成長しています。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックからより良 い復興を遂げ、よりインクルーシブ(包摂的)で持続 可能、そしてレジリエント(強靭)な世界を築く上で、 メディアの役割はかつてないほど重要です。私たちは、 TBSをはじめとするメンバーの努力を高く評価してい ます。SDGsを推進力とし、事実に基づいた正確な情 報の発信を通じて、メンバーは人々を啓発し、インスピ レーションを与え、行動を促すことで、すべての人に とってより良い未来への道が切り拓かれるのです。





フランシーヌ・ハリガン Francyne Harrigan 国連グローバル・コミュニケーション局 持続可能な開発担当チーフ

DGsなどの持続可能な開発に関わる コミュニケーションを担当。バンコクや ,ャカルタの国連機関事務所、マレ-シアや香港の放送局やメディアで勤務 するなど、アジアで長年の経験を持 つ。英国リーズ大学で国際コミュニケ-ションズ・メディアの修士号を取得



若者たちが推し進めている価値観が いずれ世界に浸透すると信じている

2020年11月25日、第1弾「地球を笑顔にする WEEK」 の開催期間中に実現したグテーレス事務総長への単 独インタビュー。キャンペーン大使を務めた井上貴博 アナと江藤愛アナを聞き手に、ZOOMを通して行わ れたインタビューの模様を再録します。

#### SDGsは日常生活のすべてに関わっている

井上アナ「まずはグテーレスさんの SDGs に関する活 動を教えてください」

グテーレス「現在、国連では使い捨てのプラスチック やビニール袋を廃止しています。母国にいるときは小 さな車に乗り、可能な限り環境に負荷をかけないよう にしています。食べ物のフットプリントにも気を使っ ています。このように、SDGs は日常生活のすべてに 関わっています。我々は SDGs と共に生活しなくては ならないのです」

井上アナ「我々もより幅広い世代、特に若い世代に SDGs をどう伝えていけばいいのか、悩みながら取り 組んでいます。グテーレスさんはお孫さんとどのよう な会話をされていますか?」

グテーレス「時に私たちは子どもや孫に教える立場だ と考えますが、実はその逆です。なぜなら、気候対策 に最も精力的なのは若者たちです。ジェンダー平等に 一生懸命取り組んでいるのも、正義のために闘ってい るのも若者たちです。彼らが新しい世界にどう適応す べきかを教えてくれるのです」

江藤アナ「グテーレスさんが常々、若者の声に耳を傾 けよう、子どもを守ろうとおっしゃるのは、ご自身の 経験でもあるんですね」

#### 第9代国際連合事務総長 アントニオ・グテーレス

PROFILE / 1949 年生まれ、ポルトガル出身。1995 年にポルトガ ル首相に就任し、2002年に退任。その後、国連難民高等弁務官な どを経て、2017年から第9代国際連合事務総長を務める。

グテーレス「社会にはさまざまな問題がありますが、 私は楽観的です。なぜなら、若者たちは地球全体のこ とを気にかけています。そして、気候変動や人種差別 に対して若者主体のムーブメントが起きています。私 は期待するのです。今、若者たちが推し進めている価 値観が、いずれ世界に浸透するだろうと」

#### 孫世代に持続性の高い社会を、地球を受け継ぐことが責務

江藤アナ「日本の SDGs の取り組みについて、どのよ うにご覧になっていますか?」

グテーレス「2050年までに温室効果ガスの排出量 を実質ゼロにするという日本政府の決断を誇りに思 います。日本は気候対策において世界のリーダー的 役割を担っています。ジェンダー平等でも同じよう に、さらにリーダーシップを発揮してくれると信じて います」

井上アナ「最後に、日本の若者にメッセージをお願い します」

グテーレス「我々は激動の時代を生きています。同時 に、世界中の人々のたくさんの勇気を目にしてきまし た。人は順応します。それぞれに努力しています。そ うした力を正しい方向へ向けて、インクルーシブな社 会を構築しましょう。そして、孫世代により公平で、 より平等で、より持続性の高い社会を、地球を受け継 ぐことが我々の責務なのです」

#### ハローキティとコラボして、SDGsを楽しく学ぶイベントを開催



2021年7月にオープンした「地球を笑顔に するHOUSE」(⇒ P14)では、第1弾の展 示としてハローキティと一緒に SDGs を学ぶ コーナーを設置しました。ハローキティは 国連と一緒に世界に SDGs を広める活動を行 い、世界各地の取り組みの現場を実際に訪れ、 YouTube などで発表しています。7月22日の 「地球を笑顔にするHOUSE」オープニングイ ベントにはハローキティが登場し、子どもた ちとクイズや歌で楽しくSDGs について学び ました。

ーハローキティ

#### 視聴覚障がいのある方々と目の見えない世界を考える



「地球を笑顔にする FESTIVAL」(⇒ P11) で は、子どもたちの社会で活きる創造力を育 むスコップ・スクールと、視聴覚障がい者 が暗闇世界の体験を案内するダイアログ・ イン・ザ・ダークとコラボし、特別プログ ラム「目の見えない人と一緒にあそぼう!」 を開催しました。プログラムには多くの子 どもたちが参加し、日常生活の中のさまざ まな音に関するクイズなどを通して、目の 見えない世界を楽しく学び、考えるきっか けになりました。

— スコップ・スクール× ダイアログ・イン・ザ・ダーク

#### 「地球を笑顔にする WEEK」におけるパートナーシップ

私たちはSDGsに取り組んでいます

**BS-TBS** 

**TBS** 

TBSラジオ

aib TOYOTA NISSAN









SUNTORY ▶≶第一精工舎

NESCAFE.

MEDIUS





RAXUS





VACAN

「地球を笑顔にする WEEK」(⇒ P10) では、 SDGs に取り組むさまざまな企業とパート ナーシップを結んでいます。メディアとし ての力を活かし、それぞれのパートナー企 業が力を入れている SDGs の目標や関連す る取り組みを「地球を笑顔にする WEEK」 の番組内で取り上げるなど、手を取り合って SDGs に貢献していくことを目指しています。

ーパートナー企業

#### TBS のさまざまな施設に再生可能エネルギーを供給

みんな電力(現UPDATER)は、2018年にTBSホールディングスとパー トナーシップを結びました。当時は再生可能エネルギー事業に難色 を示す投資家が多い中、TBSは「社会的意義のある事業だ」と耳を 傾けてくれて、志を同じくする仲間ができて本当に心強かったです。 パートナーシップを組んで以降は、TBSラジオの戸田送信所や緑山 スタジオなどに再生可能エネルギーを供給しています。また、TBS ラジオで各界のトップランナーと SDGs について語り合う「スナック SDGs」という番組を放送し、私がスナックのマスターを務めていま す。このように、パートナーシップを通じたメッセージの発信はと ても大きな力になっています。TBS は視聴者やパートナー企業の点 と点を線にする求心力を持っているので、パートナーシップのハブ として、SDGs のプラットフォーマーとしての役割を期待しています。



再生可能エネルギー事業を/ 手がける電力会社

株式会社 UPDATER (旧みんな電力) 代表取締役 大石英司

#### **瞳がいのあるアーティストの作品を赤坂サカス広場に展示**

2020年の第1弾「地球を笑顔にするWEEK」の連動企画として、福 祉実験ユニット「ヘラルボニー」と TBS がコラボした「地球を笑顔 にする MUSEUM」を開催しました。障がいのあるアーティストの 16 作品が全国の福祉施設から集結し、赤坂サカス広場の仮囲いを彩り、 作品を使用したアートバッグやマスクも制作しました。コロナ禍の いま、屋外でゆっくりと美術鑑賞ができるこの取り組みは大きな反 響を呼び、近所の保育園の子どもたちが作品を観ている姿には心打 たれるものがありました。SDGs や福祉領域の枠を越えて、ヘラルボ ニーが日常生活に浸透すれば、障がいに対するイメージも大きく変 わると思います。それは、メディアである TBS とパートナーシップ を組んでいるからできること。いままさに、新たな未来を手繰り寄 せているのだと実感しています。



福祉を起点に文化をつくる/ 福祉実験ユニット

株式会社ヘラルボニー 代表取締役・CEO 松田崇弥

#### ーヘラルボニー

一みんな電力

#### 農家の現状やフードロス問題を伝えるワークショップを開催

2021年の第2弾「地球を笑顔にする WEEK」の際、TBS の社員食堂 でフードロス食材を使ったメニューを提供したいとご相談をいただ いたことがパートナーシップの始まりです。私たちチバベジは、農家 の収入やフードロス、自然災害に伴う生産減少などの観点から、傷や大 きさなどにとらわれない野菜の新たな流通網の構築を目指して日々 活動しています。TBSとパートナーシップを組むことで、ワークショッ プを通じて社員の皆さんや子どもたちにチバベジの取り組みを知っ てもらうことは大きな成果だと考えています。SDGs の課題解決のた めには、手を取り合ってつながり続けることが重要です。つながる ことでアイデアや行動は増幅します。TBS が創出したアクションの 場を活用し、これからも地域の農家の現状や想いを身近に感じられ る機会をつくっていければと思っています。





持続可能な農作物の 未来をつくるプロジェクト/

チバベジ(一般社団法人 野菜がつくる未来のカタチ) 代表理事 髙梨美佳

20

の

力

タ

66

考

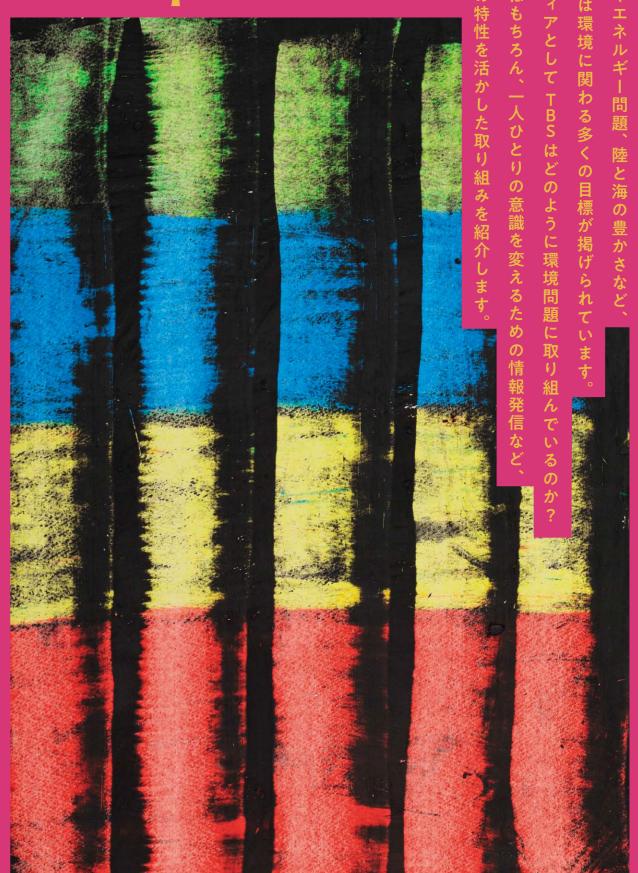
る

## SPECIAL CONTENTS

# 社員一人ひとりに できること



Chapter 3



「桔埶」槌佰



## TBSの環境対策







## 再生可能エネルギーの 利用を推し進め、 メディアならではの 取り組みもスタート

環境の未来に向けて、メディアとして TBS ができること。 行き着いた答えは、再生可能エネルギーを中心としたエネル ギー分野での環境対策と、メディアとして一人ひとりの意識 を変えるための情報発信という 2 つの軸でした。

TBS が環境対策に取り組み始めたのは、国連総会で SDGs が採択されるより8年前、2007年のこと。放送センターで使用する電力のうち、年間100万kWhを太陽光、風力、水力、バイオマスなどの自然エネルギーから作られた グリーン電力でまかない始めました。CO2排出量削減に向けた取り組みも継続して行い、2019年度の削減率(基準排出量比)は36.9%と年々増え続けています。

2018 年 12 月には、パートナー企業であるみんな電力 (⇒ P21) と協業の下、TBS ラジオ AM 波の基幹送信所である戸田送信所の再エネ化を実現。2019 年 10 月には、TBS 赤坂 ACT シアターをはじめ、赤坂サカス広場の 3 施設を同時に 100% 再生エネルギーへ切り替えました。

さらに、2021年度には TBS 緑山スタジオの使用電力を 100%再エネ化し、日本最大規模の "100%再エネスタジオ"を実現。2021年4月クール以降のドラマは 100%再エネによって制作されています。ちなみに、美術セットは複数のドラマで使ったものを"使い回す"リサイクル・リユースの取り組み (写真上から2番目) も行っており、その一部は「地球を笑顔にする HOUSE」(⇒ P14) に展示しました。

情報発信の軸では、2020 年にスタートした「地球を笑顔にする WEEK」を中心に、次ページで紹介する TBS ラジオの「チャレンジ・ゼロ~  $CO_2$  削減キャンペーン」のほか、赤坂にホタルの森をつくる新たなプロジェクトも始まりました ( $\Rightarrow$  P27)。

また、TBS 本社の低層階屋上で10万匹のみつばちを飼育 し、地域の子どもたちと一緒に自然環境について考える「み つばちプロジェクト」(⇒ P26) など、リアルな体験を通した 取り組みも行っています。これからも既存の枠にとらわれず、 "メディアだからこそできること"を突き詰め、環境の未来に 向けてアクションを起こしていきます。

# チ ゼ 75 0 削 剣 減 丰



三宅正浩 ※ U×プロデュース部

Profile / Masahiro Miyake
2002年入社。現在は主にスポーツ番組の制作を担当。「チャレンジ・ゼロ〜CO2削減キャンペーン〜」では企画から番組制作まで幅広く携わり、キャンペーン全体のプランニングを担当した。

SDGs を伝えることは、むずかしい。どうすれば興味を持ってもらえるか。アクションにつながるか。すべての社員が模索する中、TBS ラジオの「チャレンジ・ゼロ $\sim$  CO $_2$  削減キャンペーン $\sim$ 」に携わった三宅正浩さんの試みは1つの"解"を示してくれます。

「TBS ラジオは 2018 年12月から戸田送信所の電力を 100% 再生可能エネルギーに切り替えています。 パートナーシップ を組んでいるみんな電力の方々と話す中で、もっと広くアクションを促すキャンペーンをしようと企画が立ち上がりました」

2020 年 10 月 26 日から7 日間、17 の番組で CO₂ 削減をテーマにした特集企画をオンエア。三宅さんが担当した特番はとりわけユニークでした。

「リスナーから『チャレンジ・ゼロ宣言』を募集して、その宣言に対してティモンディの2人が『やればできる!』と背中を押すという企画です。ただ、普通じゃないのは、スタジオを真っ暗にしたこと。自転車1台と照明を置いて、2人が自転車を漕いで自家発電しながらオンエアしたんです。ただ、40分くらいで2人は力尽きて、残りの80分は僕が漕ぎ続けましたけどね(笑)」

大反響を呼んだこの企画の背景には、三宅さんの信念が 秘められています。

「僕らはメディアの人間なので、メーカーのように原材料や生産 ラインを変えるというドラスティックな環境対策はできません。 でも、メディア企業の強みとして、放送を通じて一人ひとりの意 識を変えられるかもしれない。ただし、気候変動って少し堅苦 しいから、楽しく学び、真剣に考える番組にしたかったんです」

東日本大震災発生時、被災地に送るためのラジオをリスナーに募ったところ、何千台も集まった体験が誇りだと言う三宅さん。ラジオの可能性を信じているからこそ、SDGs に取り組む姿勢も真摯です。

「気候変動は自分自身の問題であり、あなた自身の問題でもある。真剣に変わらないといけないからこそ、TBS ラジオは SDGs について発信し続け、その姿勢の表明として再生可能エネルギー使用も継続していく。その積み重ねによって信頼感が生まれ、3.11 のときのように、手を差し伸べ合う関係が築かれると信じています」

#### チャレンジ・ゼロ ~ CO<sub>2</sub>削減キャンペーン 概要

- ①キャンペーン対象番組内でCO<sub>2</sub>削減をテーマとした特集企画をオンエア
- ②キャンペーンスポットCM チャレンジ・ゼロ シリーズをオンエア
- ③キャンペーンフラッグシップとなる特別番組をオンエア
- ④ TBS ラジオが運営する住宅展示場「TBS ハウジング」で使用する電力を再生可能エネルギーに切り替え
- ⑤新型広告商品の開発



# TBSの低層階屋上には、なぜ

# 10万匹のみつば



その答えを、CSR推進部の秋沢淳子さん(写真左)と 養蜂家の髙橋和子さん(写真右)が教えてくれました。

?かの

秋沢「8 階にある低層階屋上でみつばちを飼育するプロジェクトが始まったのは 2011 年のこと。みつばちが生息する地域には豊かな自然環境があり、環境汚染がないといわれています。地元の小中学生向けに体験学習を行い、観察を通して地域の自然環境について一緒に考えることが一番の目的。飼育は養蜂家の髙橋さんを中心に、赤坂在住のボランティアグループ『チームみつばちあ』の皆さんにご協力いただいています」

高橋「みつばちの行動半径は約2~3km。その範囲にみつばちの蜜源となる草花や花が咲く木があることが生きる条件になります。つまり、みつばちの巣箱は半径2~3kmの自然環境を反映した縮図でもあります。世界の自然を守ろうとするとスケールが大き過ぎるかもしれませんが、自分が住む半径2~3kmの自然を守ることなら自分ごと化しやすいですよね。みつばちのために草花を植えるなど、みつばちを起点に自然環境について考え、アクションを起こしてもらえると嬉しいです」

秋沢「TBSは赤坂を中心に港区の公園に蜜源植物を植える取り組みも行政と共に行っているので、港区全体に豊かな自然環境をつくり出せるといいですよね」

高橋「みつばちの巣箱の周りに野菜や果物が実る農園をつくって、地域に根ざしたコミュニティにするのが私の夢。そこには子どもたちにとっての職業体験があり、子どもたちの原風景になる。災害時には避難所にも使える、誰一人取り残さない空間です。何より、観察を通してみつばちがどんなふうに生きているか、人間がどんな影響を与えているか、想像力を育んでほしい。想像力は、人間と生き物が共生していくために、もっとも必要な力だと思うんです」

然環境について考える

赤坂の夜空をホタルが





赤坂にあるTBS本社の南玄関に、ビオトーブ(生物たちの生息空間)があることをご存じですか? 目印は、今は亡き美術界の巨匠フンデルトヴァッサーが手がけた「21世紀時計」と呼ばれる大きなオブジェ。小さなスペースながら木々が生い茂り、池の中にはオタマジャクシやメダカが泳いでいます。空を見上げれば木々の隙間から地上20階建の本社ビルがそびえ立つ、都会と自然が融合した不思議な空間です。

2021年10月1日からスタートした朝の 情報番組「THE TIME,」の中で、そんなビ オトープを舞台にした新たなプロジェクト が始まりました。「THE TIME, の森プロジェ クト」と名付けられたそれは、ビオトープ にホタルが生息する森をつくる過程を通 し、自然環境についてみんなで考えていく ものです。

プロジェクトのリーダーは、「THE TIME,」の金曜日の司会を担当し、第1回「地球を 笑顔にする WEEK」では大使を務めた香川 照之さん。番組を通してホタルが生息できるための水質や環境を調査・整備し、ホケットの幼虫を池に放流する様子などを追いかけます。さらには、都心部に生息する昆子を調べる香川さんならではの取り組みも予定。みんなで自然環境について学び、考えたその先に、赤坂の夜空にホタルが舞う、そんな光景が実現するかもしれません。





Chapter 4



世 放 の 中 さ 1) あ 九 前 に る る変 与えた を き 化を U か ら

#### Profile / Tomoko Kubota

2000年入社。2013年よりアナウンサー兼記者となり、NY支局へ赴任。2017年に退職後、2020年にジョブリターン制度を利用して復職。「戦後76年プロジェクトつなぐ、つながる」ではSNSキャンペーンを担当した。



久保田智子 リススニュース編集長報道局デジタル編集部



アナウンサーを経て記者として活躍する久保田智子さん。 大学在学中に経験したアメリカ留学が今の仕事に大きな影響 を与えていると振り返ります。

「色々な人種の人たちと出会い、みんながしっかりと意見を持っている。広島の山の中で育った私には毎日が刺激的でした。多様性を肌で感じて、『もっと自由でいいんだ!』と奮い立ちましたね。一方、日本とは比べものにならない貧富の差も目の当たりにして、当たり前が通用しない世界があることを知れたことも大きかったです」

大学卒業後、報道志望で入社。2013年からはアナウンサーと記者を兼務することになります。

「ちょうど新しいことに挑戦したいと考えていたとき、兼務のお話をいただきました。成長するチャンスを与えてくれる環境にも、先導してくれる上司がいる人間関係にも恵まれています」

現在は報道番組で取り上げるニュースの選定やデジタル配信などを担当。そうした日々の業務に加え、自身が大切にしているテーマを伝える番組制作にも力を注いでいます。

「戦争体験者の記憶を次世代につなげたいという想いに駆られ、オーラル・ヒストリーを活かして被爆者への取材を続けています。もうひとつの大切なテーマは社会的養護。私自身、特別養子縁組を体験したこともあり、メディアを通じて発信することで当たり前を疑い、"こうあるべき"から解放される変化を世の中に与えられればと思っています」

メディアの力を信じ、平和や偏見を取り巻く意識の変化を 発信する活動そのものが SDGs につながっています。

「自分が好きなことと SDGs を掛け合わせるとアクションに結びつきやすいと思います。ゲーム好きの才能を活かして平和を訴えるアプリを共同開発したメアリー・ポピオさんの活動はとても示唆的ですね。大学は 4 年で卒業、卒業後は就職しなきゃいけないという当たり前を疑い、好きなことと真剣に向き合ってみてください。人生はやり直しがきくし、もっと自由で、もっと柔軟でいいんです」



2012年にキャリア採用で入社した河村浩司さんが取り組んでいるのは、いわば "TBS × DX (デジタルトランスフォーメーション)"。これまでの働き方を変えるデジタル化業務です。

「従来、映像の記録メディアはビデオテープが中心でした。 そうしたワークフローを抜本的に変える取り組みが、映像をデータファイル化するシステムの構築です。 このシステムによって、カメラの映像は録画と同時にサーバーにデータ送信され、映像編集からオンエアデータの送出までが一元管理されるのです」

このシステムの構築や運用にあたって、河村さんの果たす役割 は極めて重要です。

「従来のワークフローを変えるためには新しい働き方をデザインしなければなりません。制作サイドに業務内容をヒアリングし、ワークフローをどうシステムに落とし込むか、どうすれば効率的に業務が進められるかをシステム開発業者と検証する。 いわばシステムの設計士のような仕事をしています」

前職でもシステム開発・運用に携わっていた河村さん。TBSの求人を目にしたとき、ある想いに突き動かされたと当時を振り返ります。「システム系の仕事は裏方ですから、仕事の成果が見えづらい部分があります。一方、メディアとして情報を発信するTBSであれば、自分が携わった仕事が世の中に届くプロセスや結果を見ることができる。世の中の役に立ち、やりがいや達成感を得るために、自分のスキルを活かせないかと考えたんです」

2020 年 4 月以降はテレワークが定着したことから、働き方も 劇的に変化したそうです。

「緊急事態宣言中はほぼテレワークで、出社が数回という月も。 往復3時間かかっていた通勤時間がなくなったぶん、子どもたち の送り迎えや家事の手伝いができるようになりました。三男が産 まれた昨年は育児休業を取得し、今はTBS独自の育児時間制 度も活用しています。それから、TBSには丁寧に教えてくれる 先輩社員が多いですし、TBSグループユニバーシティという学 びの場もあります。働きやすさとやりがいのある環境が整って いると思いますよ」 河村浩司 メディアソリューション部メディアテクノロジー局

やりがいと達成感がある仕事のその先に、デザインする

rofile / Koji Kawamura

保険会社のシステム担当を経て 2012 年入社。現在はビデオテープに置き換わるデジタル化システムの構築に携わる。三児の父であり、1 日最大 2 時間の育児時間を取得できる TBS 独自の育児時間制度を利用中。



#### イノベーションを起こす風土を醸成する



変化の激しい時代にあって、組織としてサステナブルに 成長していくためには、組織を構成する一人ひとりが変 化を認識し、学び、成長し続けていくことが必要です。 TBS グループユニバーシティ(以下、TGU)とは、TBS グループで働くさまざまな人に、選択可能な学びの機会 を提供する共通の"学びの場"。自ら学び、成長しよう とする自律的人材を育成し、新しい価値を生み出すイノ ベーションを起こす風土を醸成するための取り組みです。

#### SDGsについて社員同士で学び、考える

左上から順に【進行】寺田淳史(O5年入社・編成局)【登壇者】高島瑞希(18年入社・SDGs企画部)、寺崇寛(20入社 BS-TBS)、中村紘(12年入社・ スポーツ局), 田崎直洋(09年入社・コンテンツ制作局), 宮本晴代(05年入社・報道局), 三字正浩(02入社 TBSラジオ), 菅野浩志(05年入社・ 情報制作局)、吉原瑠那 (19 年入社・総合プロモーションセンター) 【主催者】 井上波 (SDGs 企画部長) 【登壇者】 海野裕次郎 (06 年入社・営業局)



TGUでは、SDGs について学び、考え、アクションに 起こすためのシリーズ講座「TBS×SDGs~私たちに できることは?」を開催しています。過去には国連広 報センター所長の根本かおるさんら外部識者もお 招きし、2021年10月現在、シリーズは8回を数え ました。

第8回では、第2弾「地球を笑顔にする WEEK」に 携わった若手社員を中心に、さらにキャンペーンを盛 り上げていくために必要なことを考えました。

話し合いの中では、9人の登壇者から2030年に向 けて「赤坂の街全体をサステナブルにしよう」「TBS への出稿金額の一部を寄付する SDGs 基金をつくりた い」「会社として普段の放送事業を SDGs につなげて いく新たな仕組みを作ろう」など、さまざまな提言が 寄せられました。

アメリカから参加したNY支局の宮本晴代さんから は「アメリカでは、目に見える環境への取り組みなど は日本と大差ないが、人権や公正という意識が強い。 日本でも、これからは目に見えないSDGsが大事になっ てくると思います」という指摘があり、「TBSとして、 平和と公正、パートナーシップなど、今まで扱うこと が少なかったテーマにも取り組んでいけたら」といっ た意見が活発に交わされました。

サステナブル	SDGs	ESG営業
な「街」へ	日本代表に!	~環境配慮のスポンサーの機遇~
ジェンダー 平等	今日は テレビを消そう	WEEKの 大トリは 感謝祭!
SDGsを	TBS×パートナー企業	SDGs
当たり前に!	大規模プロジェクト	基金設立

2030年に向けたさまざまな提言が寄せられ、社員同士でディス カッションを行いました。

#### 変化する時代を学び、サステナブルな成長を遂げる



「半沢直樹」など、ドラマ制作のエキスパート・福澤克維さんによる伝承講座

#### 放送・メディア関連講座

当事者を招いての「LGBT 講座」、差別表現や現代の倫 理と放送基準など、メディアに関する最新情報を学ぶ 講座。

#### ビジネススキル関連講座

思考法やマーケティング理論、会議の進め方やコーチン グ、最新経営理論を学ぶ講座。

#### 経営フォーラム

経営陣と従業員が直接語り合える場。経営陣の意思や 考えを伝え、従業員の声や疑問を投げかけ、相互理解 を深めます。

#### 伝承講座

TBS グループ内のさまざまなジャンルの"匠"たちが持つ モノづくりのノウハウ、これまで培ってきたマインドや スキルを後輩に伝えています。

#### ▶立教大学 BLP

立教大学経営学部の「ビジネスリーダーシップ プログラム」に提携企業として参加。TBS グルー プの課題解決を考える学生のプログラムに、グ ループ社員もサポート役として参加し、学生と 共にリーダーシップを学んでいます。

#### ▶東京大学との共同研究

TBS が保有する「ドキュメンタリーアーカイブ」 を利用し、報道ドキュメンタリーについて学ぶ 教材を東京大学情報学環と共同研究。教材を 利用した講義を東京大学で開講し、TBS グルー プ社員も聴講生として参加、学生と共に学ん でいます。



#### TGU参加者の声

#### TBS スパークル 人事部 阿部 美代子

デ

カは

ツ他

シ部

3 局

す方

ると

な

モ新 チた シ が期 (1) ŧ

以前、TBSと外部企業の関わり方を学ぶ講座に参加 しました。互いの会社や人となりの相互理解を深め ジ ることを目的とした講座で、出資先の企業のお話を ョネ 聞くことで、TBSとの共同ビジネスにつながる期待感 ス が生まれ、モチベーションアップにつながりました。 それまでは TBS との関わり方を知る機会がなかった ため、非常に有意義な時間となりました。 新たなビ ジネスに役立つ以外にも、業務の取り組み方などの 参考にもなり、プラスになっていると感じています。 がまた、合気道やVRなどの体験型の講座にも参加し、 た 芽 特に合気道は身も心もリフレッシュすることができまし 生 た。TGUの研修ではグループ社員との関わりも増える え ため、お互いの仕事や考えを共有し、交流を深めら れるのもメリットだと思います。気楽に学びたい、話を 聞きたい、体験したいという気持ちで参加できるので、 これからもどんどん活用していきたいと思っています!

#### メディアビジネス局 海外事業開発部 市川 竜太郎

TGUは社員のビジネススキル向上に役立つ素晴ら しい機会であり、他部局の方とディスカッションす る貴重な機会だと思います。 改めて体系立ててビ ジネススキルの基礎を学ぶことによって、つい忘れ がちな観点を持って業務に取り組むことができて ンのいます。



32

 $\mathcal{O}$ 

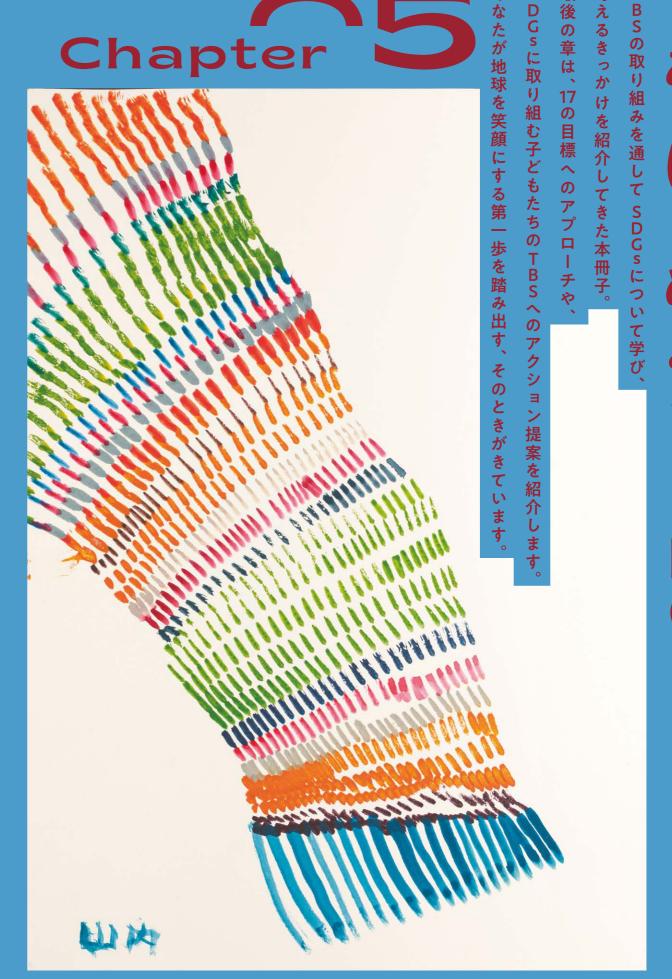
な

取

1)

組





「僕のマフラー」山内 博貴

## SDGs ACTION GUIDE

SDGsの17の目標に対し、社会はどのように動いているのか? そして、私たち一人ひとりにできることはなにか? TBSアナウンサーの取り組みや意見を参考にして、 SDGs についてみんなで考え、アクションに移しましょう!



#### 1 貧困をなくそう

要となった食料を必要な人に届けるフードバンクなど 商品を選んでみてください」(宇賀神メグアナ) の取り組みが進んでいます。「世界に目を向けると、7 億人以上が1日約200円※2で暮らす貧困状態にあり ※1厚生労働省「2019年国民生活基礎調査の概況」 ます。開発途上国の製品や原料を適正な価格で購入し、

日本では7人に1人の子どもが相対的貧困(その国の 生産者や労働者の生活改善を図るフェアトレード商品 生活水準と比べて困窮した状態) に陥っており※1、不 は日本でも販売されているので、認証ラベルを目印に

※ 2 国際連合広報センター SDGs 報告 2019



#### 2 飢餓をゼロに

相対的貧困層の家庭では子どもに満足な食事が与え 構築が必要です。「私はスーパーマーケットで訳あり 万トンの食料が廃棄されています※。そうした食品 (野村彩也子アナ) ロスをなくし、貧しい人たちのために適正な価格で

られないケースもあり、飢餓も私たちの暮らしと無 品を積極的に買っています。家庭菜園も身近に始めら 縁ではありません。その一方で、日本では年間約 612 れる SDGs なので、ぜひチャレンジしてみてください」

栄養価の高い食料を流通させる社会保障システムの ※環境省 平成 29 年度食品廃棄物等の利用状況



#### 3 すべての人に健康と福祉を

国民皆保険制度をはじめ、先進国の中でも医療制度が 1日15分のウォーキングによって、運動をしない人に になっても治療を受けられません※。保険サービスの 識してみてください」(上村彩子アナ) 整備や教育が急務であることはもちろん、一人ひとり の心がけも大切です。「私は毎週ジムに通っています。 ※日本ユニセフ協会「SDGs CLUB」

整っている日本。しかし、世界に目を向けると、サハ 比べて3年寿命が延びるといわれており、医療や介護 ラ以南のアフリカ地域では2人に1人の子どもが肺炎 の課題解決につながります。皆さんも毎日の運動を意



#### ◢ 質の高い教育をみんなに

教育は自立心や倫理観を育み、安定した仕事や新しい ボランティアなどの取り組みが進んでいます。「私は 報通信技術を活用した教育インフラの整備、学校支援 ださい」(良原安美アナ)

技術開発、早すぎる妊娠や児童婚の防止にもつながる 大好きな読書を通じて価値観を変えてくれた言葉を SDGs の根幹をなすものです。一方、世界には学校に ノートに書き留めるようにしています。いつか誰かに 通うことができず、読み書きができないまま大人になその言葉を伝えられれば、きっとその人の役に立てる る子どもたちがたくさんいます。その対策として、情はず。皆さんも、小さな教え合いを積み重ねてみてく



#### ■ ジェンダー平等を実現しよう

LGBTQ といった性的マイノリティも含め、ジェンダー (山本里菜アナ)

日本は世界経済フォーラムの「ジェンダーギャップ への教育や理解が必要とされています。「私は『男だ 指数 2020 | で 153ヵ国中121位と、世界的に見て から』『女だもんね』という言葉を極力使わないように も男女の雇用や収入の格差が深刻です。近年は女性活 しています。一人ひとりが平等を意識することで、日 躍推進法などで女性の社会進出が増えているとはい 本が、世界が変わることができると信じています。私 え、まだまだ古い価値観が根強く残っているのも事実。 もアナウンサーとしてもっと情報を発信していきます」



#### **6** 安全な水とトイレを世界中に

日本の水やトイレは安全で衛生的ですが、世界に目を ワーをこまめに止めるようにしています。蛇口から流 スを利用することができません。さらに、2050年に は4人に1人が慢性的な水不足に陥るという指摘もあ り、日頃から節水を意識することも大切です。「私はシャ ※国際連合広報センター SDGs 報告 2020

向けると、10 人に 3 人が安全な飲み水にアクセスでき れる水の量は毎分 11 ~ 13L、コップ約 60 杯分相当と想 ず、10人に6人※はトイレなどの基本的な衛生サービ 像以上です。皆さんもこまめな節水を心がけましょう」 (齋藤慎太郎アナ)



#### エネルギーをみんなに そしてクリーンに

用した環境にやさしい発電方法が注目されています。 で体温調節できるように心がけてみてください」 「私は暑さや寒さをなるべく着るもので調整するよう (日比麻音子アナ)

最近、ニュースや新聞などでも目にする機会が増えた に心がけています。また、エアコンの設定温度を27℃ 再生可能エネルギーという言葉。日本はエネルギー供 から28℃に変えるだけで、1日最大13%のエネルギー 給の大半を化石燃料が占めている上、エネルギー不足 削減につながるそうです。皆さんも持ち運びできる扇 に陥りやすいことから、太陽や風、水、地熱などを利 風機やマフラーなどの防寒具を使って、なるべく自分



#### ■ 働きがいも経済成長も

日本では働き方改革が推進されている一方、給与格差 ます。数十年前と比べて日本の労働時間は減っている セント・ワークに向けて、企業や個人はもちろん、社 げることも、実は立派な SDGs の一環なんですよ」 会全体の努力が必要です。「私は残業ゼロを目指してい (山本恵里伽アナ)

やサービス残業など、労働環境に関する課題は山積みとはいえ、まだまだ働き方の改革が必要です。自分の です。すべての人が人間らしい環境で働きがいのあるキャパシティに合った働き方を見つけることで、心身 仕事に就き、十分な収入と社会的保護を得られるディー ともに健康になり、より高いパフォーマンスにつな



#### ● 産業と技術革新の基盤を作ろう

水道やガス、電気、鉄道、道路、インターネットなど 未満です※。私たちが当たり前だと思っていても、世 能習得の機会を確保するためにも、インフラ整備の研 究・開発や資金・技術の提供が進んでいます。「開発

の施設・サービスを意味するインフラの整備は、産業 界中には異なる現実がたくさんあります。まずはそう の発展や技術革新の土台となるものです。教育や技 した状況を知ることから SDGs を始めてみませんか?」 (宇内梨沙アナ)

途上国ではインターネットの使用状況は約5人に1人 ※国際連合広報センター SDGs 報告 2020



#### ▲● 人や国の不平等をなくそう

治的に取り残されないためには何が必要か、みんなで 思っています」(篠原梨菜アナ)

黒人差別に端を発し、アメリカ合衆国内で大きなムー 考えてみましょう。「日本における貧困は高齢者世帯 ブメントを起こしたブラック・ライヴズ・マターをは や母子家庭に多く、支援体制が不十分であると痛感 じめ、世界には人種や性別、性的指向、宗教、政治、 しています。こうした問題について考えるとき、大切 さらには賃金や社会保障などに関する差別・不平等が なのは当事者意識です。私はこれからも社会格差の声 数多く存在します。すべての人が社会的、経済的、政 を拾い集め、当事者意識を持って発信していきたいと



#### 15 陸の豊かさも守ろう

林をはじめ、陸の豊かさを守ることも大切です。しかし、 年に 1,000 万ヘクタールの森林※が家畜の飼育や大規 模農業のために伐採され、森林火災や砂漠化も生態系 に深刻な影響を及ぼしています。「私はFSCマークの製 品を選ぶようにしています。FSCマークとは、国際的

きれいな空気と水を生み出し、気候変動を改善する森 な基準を満たし、森林保全につながる木材や紙製品に付 けられる認証マークのこと。いつもの買い物のとき、少 し気をつけるだけで森や緑の保護につながるはずです」 (川形純草アナ)

※国際連合広報センター SDGs 報告 2020



#### 11 住み続けられるまちづくりを

私たちが暮らしている街にも持続可能な視点が必要で を今日から実践しましょう。「私はリノベーション物件 いる人がいたら手を差し伸べる"心のバリアフリー" (井上貴博アナ)

す。例えば、子どもや障がい者、高齢者にとって使い に住みながら、二重カーテンなどでエネルギー消費を やすい公共スペースの整備やバリアフリー化、自然災 削減することを心がけています。新しいものを重宝す 害発生時に安全や都市機能を確保するまちづくりなど る価値観から、良いものを長く使う価値観へ切り換え、 が進んでいます。街の整備を進めると同時に、困って自分でできる小さなことを積み重ねていきたいですね」



#### 12 つくる責任、つかう責任

例えば、一着のジーンズを作るのに7,500Lの水が必 食品を購入する際、必ず自分が食べ切れる量を購入し、 の私たちも、リデュース・リユース・リサイクルの3R 毎日こつこつ取り組むことが大切だと思います」 を意識して、モノを使う責任を意識しましょう。「私は (杉山真也アナ)

要なように、モノを作るためには限りある資源を大量保存食は賞味期限内に食べ切るようにしています。 に使っています。つくる側は、モノを作る際に環境負 また、飲みきったペットボトルは必ず家に持ち帰って、 荷などに配慮しなければいけません。一方、つかう側 洗ってラベルを剥がしてから捨てています。SDGs は、



#### 13 気候変動に具体的な対策を

発電の設置など、身近にできることがたくさんある分野 (江藤愛アナ)

地球温暖化や異常気象などを阻止するため、世界各国 です。「私は普段からマイバッグにスプーンやフォーク が温室効果ガスの排出量削減に取り組み、再生可能エを入れて持ち歩いています。ただ、ゴミを捨てる際はビ ネルギーや電気自動車を普及させる政策や方針が打ち ニール袋を使っているので、これでいいのかなと悩んで 出されています。気候変動への対策は、エコバッグや います。でも、悩みながらでもいいと思います。なにか良 マイストローの使用、常日頃からの節電対策、太陽光 い方法がないか、みんなで一緒に考えてみませんか?」



#### 1 4 海の豊かさを守ろう

るプラスチックの量、それがどのように廃棄されてい ら始めています」(喜入友浩アナ)

私たちがお寿司やシーフードに舌鼓を打ち、海水浴 るのかを調べてみましょう。「海をいつまでも美しく保 を楽しむことができるのは、海の豊かさが保たれてこ つために、プラスチックゴミの削減は私たちの責任だ そです。しかし、乱獲によって世界の水産資源は枯渇と思います。30年後には海のプラスチックゴミの量が の危機に瀕し、プラスチックごみが海の生態系に与え 魚の量を超えてしまうといわれています。魚たちのた る悪影響も問題視されています。自分が普段使ってい めに、海のために、まずはエコバッグでレジ袋削減か



#### 16 平和と公正をすべての人に

世界を見渡せば紛争やテロ、人身売買、難民問題など であるため、なかなか身近で行動に移すことが難しいか に反する数多くの問題が存在します。裁判所などの司

が、身近なところでもいじめや虐待など、平和や公正 もしれません。ただ、世界に目を向けてみると、差別を 受け、最低限の生活が保障されていない人たちが存在し 法の整備も大切ですが、普段からいじめや虐待を黙認 ます。こういった問題を知ろうとすることで、いつか行 しない、不公平に異を唱えるなど、一人ひとりの勇気 動できるときがくると思います。皆さんもぜひ、まずは ある行動も大切です。「平和と公正というテーマは壮大 知ることから始めてみましょう」(田村真子アナ)



#### **17** パートナーシップで目標を達成しよう

日本国内での SDGs の認知率は 3 割程度と先進国の中で ナーシップをもってアクションを起こしましょう。「私 も低い水準※にあります。SDGsの目標を達成するため はインファームで栽培された野菜を購入したり、食品口 には、先進国が涂上国に資金と技術を支援すること、公 ス対策に取り組む企業から廃棄前の食べ物を購入したり 平な貿易ルールを作ることはもちろん、世界が抱える問 しています。みんなで協力して、どんどん SDGs に取り 題を共に考え、行動に移し、広めていくことが大切。国組みましょう!」(近藤夏子アナ) や企業、そして国民一人ひとりが手を取り合い、パート ※世界経済フォーラム ニュースリリース

## SDGsをアクションにつなげる ヒントはこちら!

YouTube 地球を笑顔にするチャンネル

「地球を笑顔にする WEEK」の見逃し配信や 「地球を笑顔にする FESTIVAL」の アーカイブ動画などをご覧いただけます。



TBS NEWS シリーズ・ 現場から、「SDGs 2030 年の世界へ」

世界中で進行している SDGs の取り組みを TBS が独自取材した動画をアップし、 共に考える場を提供しています。



THE SAME 3 1 F 6

「ペット飲料飲まんデー」を全国に及び、 「只見中学校 (福島県只見町)

只見中学校では海洋プラスチックごみの削減に取り組んでい ます。先生によると、日本では1年間に230億本のペットボト ル飲料が消費されているそうです。ペットボトルを減らして、 海の豊かさを守りたいと思っています。実際に新潟県の海に行っ て海浜清掃をしてみると、日本のごみはもとより、海外のごみが たくさん流れ着いていました。こうしたプラごみを減らすために、 新聞紙レジ袋を全校生徒で作成し、町内のお店に配っています。

TBSには私たちの活動を「ひるおび!」や「あさチャン!」で 取り上げていただき、全国から励ましや応援のメッセージをい ただきました。また、「地球を笑顔にする HOUSE」のワークショッ プ企画で、全国の方と新聞紙レジ袋を通して交流しました。

そんな TBS と一緒に取り組みたいことは、PET Free Monday の呼びかけです。毎週月曜日、生徒やその家族、先生がペット ボトルを使用しないというもので、名づけて「ペット飲料 飲ま んデー」。この活動を TBS と一緒に全国に広げ、さらには総理 大臣や環境大臣に私たちの考えを聞いてもらえる機会をつくり たいと思っています。

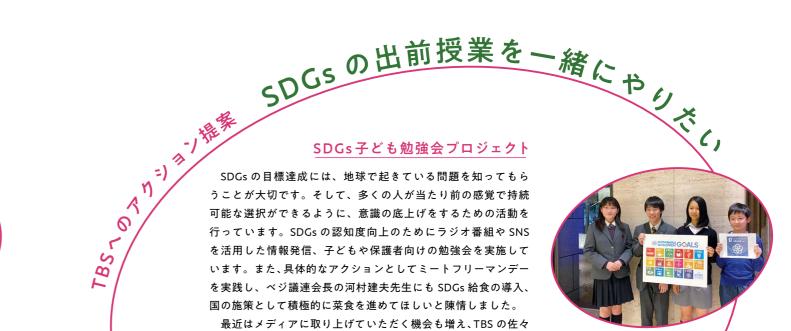






国の施策として積極的に菜食を進めてほしいと陳情しました。

最近はメディアに取り上げていただく機会も増え、TBS の佐々 木社長ともお話しさせていただきました。メディアで紹介され た翌日、学校で知らない生徒が訪ねてきて、一緒に SDGs の活 動をしたいと言われたときは本当にうれしかったです。TBSと は、小学生向けに SDGs の出前授業を一緒にやりたいです。授 業の中でミートフリーメニューを食べる SDGs 給食や、タレン トさんが環境に良い生活をする番組制作など、アイデアはたく さんあります。ぜひ一緒になにかやりたいです!





学生団体 AFF(Action For Future) (関係 を は 名古屋を中心 1- 2015年)

若い世代に SDGs のことを知ってもらうための活動をしていま す。さまざまな企業や行政などに協力してもらいながら、学 生向けのオンライン講座を行っています。現在は学校の授業で SDGs を扱う機会も増えていますが、まだまだ実践的な学習は少 ない印象です。SDGs はアクションを起こして初めて意味が生ま れます。すべての人が主体的にアクションを起こす流れを、僕 たち学生がつくる。そんな社会を目指しています。

第2弾の「地球を笑顔にするWEEK」では、「東大王」で SDGs が特集されていて、子どもでも理解しやすい内容になっ ていてとても勉強になりました。そんな TBS とは、体験型イベ ントを通して SDGs を広めていきたいです。僕たちと同じよう な目標を掲げる団体とつながりはあるものの、やはり発信力の 弱さを実感します。そこで、TBS に僕たちの足りない部分を補っ てもらいながら、海洋汚染や森林破壊など、未来のために環境 や生き物、資源を守る活動を一緒にできればと思っています。





テレビの備品を再利用できるさので

#### Nitobe アイビーズ

私たちは、2021年度の FSC ジュニアアンバサダーとして、 FSCマークの普及活動に取り組んでいます。FSCマークとは、適 切に管理された森林の木材を使った商品に付けられる認証マーク で、マーク付きの商品を選ぶことで世界の森林保全につながりま す。いまこの瞬間にも破壊されている森林を守り、動植物と共生 できる社会を目指しています。

具体的には、FSC マークや森林の大切さなどをわかりやすく伝 える絵本の作製、読み聞かせのワークショップを開催しています。 絵本とワークショップによって、子どもと大人をつなぎ、当事者 意識を高め、より良い未来を創ることができると思います。「地 球を笑顔にする HOUSE」でワークショップを行ったときは、子 どもたちが真剣に耳を傾けてくれて、みんなが笑顔になれる時間 を過ごすことができました。今後もTBSと一緒にワークショップ を行いたいと思います。それに加えて、テレビ収録で必要なカン ぺや備品、小道具などを再利用できるものに変えていきたいです。 さらには、FSCマークの紙も一緒に開発できるとうれしいです!





次のACTION BOOKは、皆さんが主役です

な

自

由

な

アクシ

ン提案を

お待ち

T

U

ます

全国 T B S メデ 「地球を笑顔にす В В G の 1 ح 仲間 ァ 通じ の を 目標を達成 緒 使 に つ つ T な るアクション」 h S な D っ G ことがや るために S 意見交換が を 発信 っ を起こしませんかっ た み U た

#### TBSへのアクション提案はこちらから!

ハッシュタグ「#TBSと一緒にアクション」を付けて投稿してください。

#### Twitter: 地球を笑顔にするつぶやき 【TBS × SDGs】



Mail: tbs-sdgs@tbs.co.jp

#### Instagram:

地球を笑顔にするWEEK 【公式】



# 皆さんと一緒に、社会を動かす ムーブメントを起こしてみたい!

「テレビはほとんど見ない」…そんな若い人の声を聞くたびに、テレビに憧れて育ち、それを仕事にした私は悔しいような、もどかしいような気力の間になります。確かに、今どきはネットや配信プラにムのほうが、自分の観たいもの、好みのもしれません。カコンテンツを見つけやすいのかもしれません。知いたほうがいい情報や、「へー、そんなに母気があるんだ!?」という新しいそ、SDGs などの社を明まで、です。だからこそ、SDGs などの社を呼があるることです。だからこそ、SDGs などの社を呼があるることです。だからこそ、SDGs などの社がびあるることです。だからこそ、SDGs などの社がびあるることです。だからこそとには対して、TBSにはラジオ・BS・CS や各種イベントには全国 27 の系列局など、日本、そして世界にも情報を拡散するネットワークがあります。

しかし、私たちの力だけでできることは限られています。巻頭の社長と子どもたちの対話の中にもありますが、TBS の SDGs キャンペーンを今後さらに発展させるためには、視聴者の皆さんとのパートナーシップ、特にこれからの地球を担っていく若い世代の皆さんとどう手を組めるかがカギになると考えています。若者ならではの発想力や行動力と、私たちのコンテンツ制作力、発信力、拡散力が合わされば、社会を動かす起点となり、ムーブメントを起こせるのではないか…いや、起こしてみたい!と強く思うのです。

皆が安全で平和に暮らし、"誰一人取り残さない"世界を実現するために、TBSとタッグを組んでみませんか?

TBS SDGs 企画部長

#### 井上 波

『地球を笑顔にする SDGs ACTION BOOK』製作委員会

SDGs 企画部:

井上波/花岡薫/福田剛/青木玲奈/高島瑞希/唐川美樹

総合プロモーションセンター:

吉田裕二/松原貴明/川鍋昌彦/中森卓也/内山真理子/吉原瑠那









発行日: 2021年11月1日 発行: 株式会社TBSホールディングス SDGs企画部/総合プロモーションセンター 〒107-8006 東京都港区赤坂 5 丁目 3 番 6 号 TEL: 03-3746-1111(代表) https://www.tbsholdings.co.jp 編集制作: 株式会社博報堂ケトル/株式会社博報堂 ※本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断転載を禁じます。 Copyright©2009-,TBS Holdings, INC. All Rights Reserved.





TBSは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。